

2024.04.30

PROG 成績と累計 GPA との相関関係分析結果

IR 室

標題の件、下記の通りご報告いたします。

記

1. PROG について

- (1) 本学では学生の社会人基礎力の把握とその成長を図るため、PROG テストを導入している。
- (2) PROG はジェネリックスキルを測定するもので、内容は社会で役立つ「リテラシー（知識を活用して問題を解決する力）」と「コンピテンシー（人と自分にベストな状態をもたらそうとする力）」を計測する。
- (3) PROG の結果は Level1～7 の数値で示され、数値が高い（Level が高い）ほど社会に出て活躍する力が発達していることがわかる。
- (4) PROG は 2012 年 4 月にスタートし、日本全体で利用校は大学・短期大学合計で 496 校、受検者数は累計 170 万人（2023 年 7 月末時点）に上っており、教育インフラとしてその地位を確立しており、十分な信頼性がある。

2. 分析内容

- (1) 2024 年 3 月卒業生（2022 年 4 月入学、2023 年度卒業）で、在学中に PROG テストを受検した学生の卒業時成績と PROG テストとの相関関係を調査した。
- (2) 具体的には、卒業生が卒業直前の今年 1 月に受検した PROG テスト結果と各卒業生の累計 GPA（当該学生の在学中のトータルな成績を表す）を比較し、相関係数を求める方法を採用した。
- (3) 前年度までは PROG の受検者数は 1 回目、2 回目、3 回目と回を追うごとに減少していたが、今年度はゼミの先生方の積極的な勧奨により、卒業生全員が受検した。
PROG は、学生が社会に出て求められる汎用的技能（ジェネリックスキル）を測定するツールであり、受検することは学生にとってメリットが大きい。厳しい指導をいただいた先生方には感謝を申し上げたい。

【相関係数】

相関係数とは、2種類のデータの直線的な関係の強さを表す指標。-1から1までの値をとる。1に近いほど正の相関があり、-1に近いほど負の相関がある、0に近いほど相関がないことを意味する。

| | |
|-------------------------|-----------|
| 相関係数 (r) | 相関の強さ |
| $-1.0 \leq r \leq -0.7$ | 強い負の相関 |
| $-0.7 \leq r \leq -0.4$ | 負の相関 |
| $-0.4 \leq r \leq -0.2$ | 弱い負の相関 |
| $-0.2 \leq r \leq 0.2$ | ほとんど相関がない |
| $0.2 \leq r \leq 0.4$ | 弱い正の相関 |
| $0.4 \leq r \leq 0.7$ | 正の相関 |
| $0.7 \leq r \leq 1.0$ | 強い正の相関 |

3. 分析結果（結論）

(1)リテラシーについては累計 GPA との相関係数が 0.37134 で、「弱い正の相関（リテラシーが高くなると累計 GPA もやや高くなる）」が認められた。昨年、一昨年度も同様に「弱い正の相関」が判明したが、今年度も概ね同様の結果になった。

(注) 別紙①ご参照

(2)コンピテンシーについては累計 GPA との相関係数が 0.00055 で、昨年、一昨年度と同様、ほとんど相関がないことが判明した。

(注) 別紙①ご参照

【詳細】

①リテラシーの同じ成績の学生をグループ化し、累計 GPA 平均値を表すと以下の表のとおり。リテラシー7のグループは5人しかおらず、統計的には一部の成績不良者に平均値が引きずられた格好。リテラシー6のグループは明らかに成績上位。リテラシー1のグループの成績は他のグループに比し、明らかに低位。

| リテラシー | 累計 GPA 平均値 |
|-------|------------|
| 7 | 2.36 |
| 6 | 2.65 |
| 5 | 2.44 |
| 4 | 2.40 |
| 3 | 2.27 |
| 2 | 2.31 |
| 1 | 2.11 |

②①と同様に、コンピテンシーについても同じ成績の学生をグループ化し、累計 GPA 平均値を表すと以下の表のとおり。相関関係は無いと言える。

| コンピテンシー | 累計 GPA 平均値 |
|---------|------------|
| 7 | 2.40 |
| 6 | 2.41 |
| 5 | 2.24 |
| 4 | 2.21 |
| 3 | 2.30 |
| 2 | 2.26 |
| 1 | 2.37 |

4. 意見

(1) PROG 結果と成績の比較は昨年、一昨年度に続き、3回目。

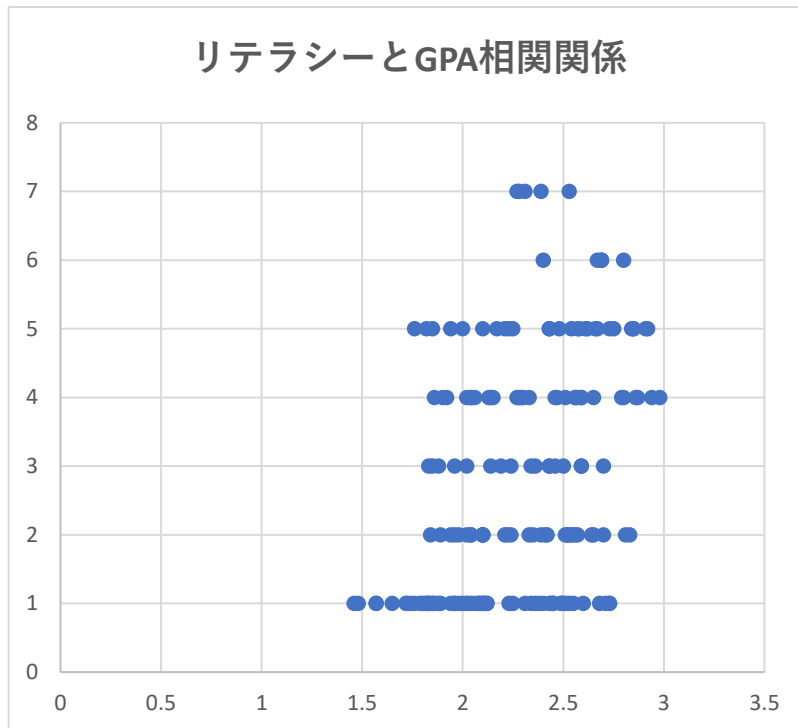
結果は従来同様、リテラシーについて成績との弱い正の相関が見られ、コンピテンシーについては、相関が見られないという結論であった。

(2) 既に述べたように、PROGは学生が社会に出て求められる汎用的技能を測定できる有力なツールである。今後も学生に対し、受検の勧奨を徹底願いたい。

以上

累計GPAとリテラシーの相関係数

0.37134



累計GPAとコンピテンシーの相関係数

0.00055

